

生誕400年記念コンサート ルイ・クープランの諸相

Les multiples facettes de Louis Couperin



平尾雅子
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)



森川麻子
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)



平井み帆
(チェンバロ)



折原麻美
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)



佐藤亜紀子
(テオルボ、バロック・リュート)

©Atsuko Ito (Studio LASP)

ルイ・クープラン：クラヴサンのための組曲 ト調
アルマンド～ダングルベールによる変奏
ヴィオルのためのファンタジア、サンフォニー
ブランロシェ氏のトンボー

シャンボニエール：神々の対話のパヴァーヌ

ブランロシェ：献上のアルマンド(リュートソロ)

フローベルガー：パリで作曲されたブランシュロシェ氏の死に寄せるトンボー 他

2026

11/15(日) 14:30開演(14:00開場)

会場 北とぴあ14階 カナリアホール

東京都北区王子1-11-1

JR京浜東北線「王子駅」北口

東京メトロ南北線「王子駅」徒歩2分

料金 (限定100席・全席自由)

一般:5,000円

北区民割引:4,500円(前売りのみ)

学生(U25):4,000円(学生証確認)

チケット取り扱い チケット発売日7月16日(木)

ほくとぴあチケットオンライン <https://p-ticket.jp/kitabunka>

北とぴあ1階チケット売場
(窓口のみ/10:00～20:00 臨時休館日は18:00まで、全館休館日は休業)

東京古典楽器センター tel 03-3952-5515

TIGET <https://tiget.net/events/496135>

ほくとぴあチケットオンライン



TIGET



北区民割引:東京都北区にお住まいの方は割引価格で購入できます。(web・窓口合わせてお一人様4枚まで)
取扱いはほくとぴあチケットオンライン(要事前登録)・北とぴあ1階チケット売場のみ。

窓口では北区在住を確認できるもの(免許証など)をご提示ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※都合により曲目、出演者が変更になる場合がございます。

※車椅子でご来場の方は、チケットをお求めのうえ、

事前に(公財)北区文化振興財団 TEL 03-5390-1221(平日9:00～17:00)までご連絡ください。

ご予約・お問い合わせ

オフィス・サワイ

☎ 03-5944-5157

✉ officesawaimusic@gmail.com



主催:ミューズコンサート企画 muse_cp@mbr.nifty.com
共催:(公財)北区文化振興財団・東京都北区

「ルイ・クーブランの諸相」

今年が生誕400年となるルイ・クーブランは、35年という短い生涯の中で残された作品のほとんどが鍵盤楽器の為の作品であり、17世紀フランスの最も重要な鍵盤音楽の創始者の一人と位置づけられています。それは間違いのないのですが、一方、クーブラン家は代々、耕作人や商人といった本業の傍らヴィオール(ヴィオラ・ダ・ガンバ)をはじめとする様々な楽器を演奏する音楽家系で、ルイ・クーブランもドゥシュ・ド・ヴィオール(高音ガンバ)奏者としてフランス宮廷に仕えました。このコンサートではルイ・クーブランによるクラヴサン(チェンバロ)の為の作品と共に、現存する数も少なく、演奏機会も非常に少ないヴィオールの為の作品を取りあげます。また、彼の才能を見出したシャンボニエール、影響を与え合ったドイツの作曲家フローベルガー、友人のリュート奏者ブランロシェというルイと関わりの深い作曲家達の作品を加えることで、先人や同時代人から受けた音楽的な影響と、その後のフランス音楽の方向性を形作ることとなるルイ・クーブランの多様で奥深い音楽世界を浮き彫りにします。

平井み帆(チェンバロ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。同大学研究科、デン・ハーグ王立音楽院(チェンバロ専攻)修了。現在、日本各地で活発な演奏活動を行っている。2013年、日本・スペイン交流事業としてアランフェスにてD. スカルラッティを中心とするプログラムのリサイタルを行った。CDに「イタリアへの夢I,II,III」(全てレコード芸術誌特選盤)、「ブクステフデ: ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロのためのソナタ全集」(文化庁芸術祭レコード部門優秀賞)、「チェンバロの旅」(音楽現代特選盤、朝日新聞推薦盤、山野楽器必聴傾聴盤、stereo誌優秀録音盤)等がある。現在、愛知県立芸術大学非常勤講師、富山古楽協会チェンバロ講師を務める他、兵庫、東京での「平井み帆の本気!講座」シリーズ、オンラインでの「通奏低音&音楽理論講座」等、バロック音楽とチェンバロの魅力を伝えるマスタークラスを行っている。2026年度国際古楽コンクール《山梨》審査員。
<https://hirai-miho.music.coocan.jp/>

森川麻子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

大橋敏成氏にヴィオラ・ダ・ガンバの手ほどきを受ける。桐朋女子高等学校音楽科にてヴァイオリンを徳永二男氏に師事。同大学音楽学部古楽器科に進み、ガンバ専攻第一期生として中野哲也氏に師事。卒業後、オランダのデン・ハーグ王立音楽大学にてW. クイケン氏に師事し、ソリスト・ディプロマを得て修了。ドイツ国立ブレーメン芸術音楽大学では、バロック・ヴァイオリンをT. アルバート氏に師事。後にイギリスへ移住。「FRETWORK」のメンバーに迎えられ、古楽及び現代音楽の演奏、録音を世界各地で行う。CD「Purcell Fantazias」は、2009年にグラモフォン賞受賞。イギリスの「Dartington International Summer School」「The Easter Early Music Course」その他各国で指導。英ケント州に「Folkestone Early Music」を設立。2022年春に帰国。東京芸術大学非常勤講師。
<https://asakomorikawa.jimdofree.com/>

佐藤亜紀子(テオルボ、バロック・リュート)

東京芸術大学音楽学部楽理科卒。ドイツ国立ケルン音楽大学でK. ユングヘーネル氏に、スイスのパーゼル・スコラ・カントルムでH. スミス氏に師事。ソロ及び、通奏低音奏者として、数多くの演奏会に出演。「アンサンブル・ポエジア・アモローザ」メンバー。パリ在住の歌手高橋美千子と古楽ユニットでCD「たまひび」をリリース(2021)。ソロでは「ララバイ、イギリスルネサンス期のリュート音楽」(2014)。「A・ピッチニーニ リュートとキタローネの為のタブラチュア曲集」(2023)は朝日新聞のfor your collectionの推薦盤となる。アイゼナハ音楽院講師。Youtubeチャンネル atelierlakko

平尾雅子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

京都に生まれる。国立音楽大学楽理科卒業。スイスのパーゼル・スコラ・カントルムでディプロマを取得、更にオランダのハーグ王立音楽院で研鑽を積む。在欧中はJ. サヴァルの「エスベリオンXX」のメンバーとして活動した。自らの研究とアイデアを生かした演奏会を企画し内外の名手たちと共演を重ねるなど、我が国のガンバ界の発展に尽力している。《J.S. バッハ ヴィオラ・ダ・ガンバソナタ集》、《ダニエーブ河のこだま》、《フランソワ・クーブラン ヴィオールのための音楽》他、数多くのCDがリリースされ、《マラン・マレの横顔IV 万華鏡》は第45回レコード芸術誌音楽史部門アカデミー賞を受賞、《ディエゴ・オルティス》は朝日新聞特選盤に選ばれた。オルティス著『変奏論』(1553)を邦訳【アルテスパブリッシング】。D.Ortiz: Recercateを編集【edition offenburg】。元国立音楽大学、京都市立芸術大学音楽学部講師。富山古楽協会講師。

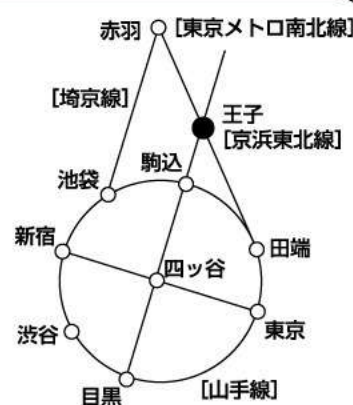
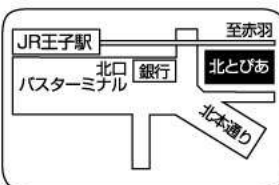
折原麻美(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

中学・高校の吹奏楽部で音楽に惹かれ、国立音楽大学音楽文化デザイン学科に入学、音楽学を学ぶ。卒業時、有馬賞受賞。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバを始め、神戸樹梅氏に師事。2010年よりブリュッセル王立音楽院にてフィリップ・ビエルロ氏に師事し、学部、修士、研究科を全て優秀賞付きで修了。その傍ら、AYAMEアンサンブル・バロック、Lux Beata等に所属、ベルギー国営ラジオ局 RTBF 主催のムジーク・トロワ祭、ユトレヒト国際古楽音楽祭等ヨーロッパの主要な音楽祭に出演する他、ヨーロッパ各地で招聘演奏を行う。2018年に帰国。金井隆之氏とのデュオ・ルーリーが墨田区主催2019年度「演奏家の船出応援コンサート」グランプリを受賞。ルネサンス〜バロック音楽を中心に、ジャンルを越えて楽器の魅力を発信。アイゼナハ音楽院講師。
<https://www.oriaraasami.com/>

会場アクセス

ほく
北とぴあ

東京都北区王子1-11-1
JR京浜東北線王子駅北口
東京メトロ南北線王子駅
下車徒歩2分



北とぴあ国際音楽祭2026
全公演の情報はこちら

